



4



2



7



5



3



6

①④旧友と再会し笑顔で記念撮影②新成人を代表してあいさつする神部嵩さん③⑥市民憲章の唱和や司会も運営委員が担う⑤式典のあいさつに真剣な表情で耳を傾ける新成人⑦色鮮やかな晴れ着に身を包む新成人



1

新成人と西脇ファッション都市構想のデザイナー研修生が
成人式用の衣装を共同製作！



▲播州織を使った振り袖とスーツを着る森本爽さん（左）と杉本朱音さん（右）

西脇高校生活情報科卒業生の森本爽さんと杉本朱音さんは、「同級生たちに播州織の良さを再確認してもらいたい」と播州織の衣装で式に出席することを決意。市内3カ所の織布工場と西脇ファッション都市構想のデザイナー研修生の藤田友弥さんと宮本祐子さんから支援を受け、振り袖とスーツを作りました。

▼パターンや縫製の支援をしたデザイナー研修生の藤田友弥さん（左）と宮本祐子さん（右）



市では成人式の様子を撮影した動画を2月中に公開予定です。詳しくは市ホームページをご覧ください

県本宮市と栃木県佐野市を支援するための街頭募金活動も行いました。
式当日は「新成人代表のあいさつ」や「二十歳の決意」「司会進行」など、それぞれが大役を果たしました。



成人式運営委員の皆さん（左から／敬称略）
（後列）灰谷仁人、神部嵩、高濱準一郎、村上雅弥
（前列）森本爽、富田杏、藤原花純、吉田佳穂

第一部の式典では、成人式運営委員長の神部嵩さんが「成人としての自覚を持ち、私たちを育ててくれた西脇市にできる限りの恩返しをしたい」とあいさつ。また、委員の森本爽さんは「夢や目標、新たな出会いを糧に、向上心を持って前進していきます」と二十歳の決意を述べました。
第二部の同窓会では、運営委員会が制作した西脇市の街並みなどを取り上げた動画を披露しました。また、委員会のメンバーは式当日に撮影した新成人の写真を使ってモザイクアートに挑戦。市民会館の緞帳をモチーフにしたアート作品が動画の最後に映し出されると、会場から拍手が起りました。



▲新成人のアイデアで作ったモザイクアート（式に出席した新成人の顔写真で、市民会館の緞帳がモチーフ）

成人式運営委員の8人が社会貢献活動
成人式運営委員会の8人は、市と協力して成人式の準備を進めたほか、社会貢献活動として茜が丘複合施設みらいえに「手作りクリスマスツリー」を寄贈。また、昨年の台風19号で甚大な被害を受けた福島

感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって前進

1月12日に、アピカホールと西脇ロイヤルホテルで開かれた「令和2年西脇市成人式」で、新成人462人が二十歳の門出を祝いました。
問合せ 青少年センター（☎22-4000）

二十歳の門出
晴れやかに